

○学校図書館の利活用により、「主体的・対話的で深い学び」を推進する斜里町立斜里小学校の取組

斜里町立斜里小学校では、町立図書館と連携して学校図書館を積極的に活用した授業づくりを推進しています。

斜里町学校図書館支援センターの巡回司書が週1回同校を訪れ、学校図書館の蔵書の整理や授業で活用する図書の町立図書館からの貸出について教員と打合せを行っています。同校は、各教科等において、学校図書館及び町立図書館を活用する単元や題材を一覧にまとめた年間指導計画を作成し、年間を通して計画的に授業で活用できるよう工夫しています。

また、地域のボランティアによる読み聞かせサークル「しゃぼんだま」を活用した読み聞かせ会を年12回行っています。

学年/月	4月	5月	6月	7月
	オリエンテーション 1年読み聞かせ 図書の借り方 図書館へいこう	ホップづくり 2年読み聞かせ 図書館へいこう	3年読み聞かせ 生はるをみつげにいこう	ホップづくり 4年読み聞かせ 夏休みの読書 生はるをみつげにいこう
1年				
2年	生めさせ野菜づくり 人	図書館へ行こう 生めさせ野菜づくり 人	国へいかえしのあるお話を作ろう 生めさせ野菜づくり 人	国へいかえしのあるお話を作ろう 生めさせ野菜づくり 人

【斜里小学校の図書館年間指導計画】



【「しゃぼんだま」による読み聞かせ】

【学校図書館を活用した授業（第6学年理科：月と太陽）】

太陽は自ら光を発し、月は太陽の光を反射していること、月の表面にはクレーターなどが観察できることなどについて、百科事典や図鑑等を活用した調べ学習を設定しました。

児童が自発的に調べ学習に取り組めるよう、小テーマを児童が自ら選択できるようにしました。

また、テーマごとに調べたことを交流し、自分が調べたことを友達に伝えたり、自分が調べたことと友達調べたことを比較することで、情報を整理したり理解を深めたりできるように学習過程や学習形態を工夫しました。



【調べ学習の様子】